

栄町は、昭和47年に策定した「栄町基本構想」及びこの構想をさらに充実させるため平成元年に改定した「栄町基本構想」(目標年次平成22年)をまちづくりの指針とし、「水と緑の田園観光都市」をスローガンに各施策を展開しています。

しかしながら、今日の我が国を取り巻く状況は、長引く景気の低迷と国及び地方財政の悪化の中にあって、少子・高齢化社会の到来、地球規模での環境問題、さらには、人々の価値観やライフスタイルの多様化など、様々な側面において構造的変化が進んでいます。

このような社会の変化や時代潮流は、栄町のまちづくりにも重大な影響を与え、大きな変革期を迎えていることは確実です。



そこで、「水と緑の田園観光都市」の実現に向けて、従来の目標達成プラン型の構想ではなく、その方向性を段階的に示すまちづくりのビジョンを新たに策定することにしました。